



平成 21 年 8 月 6 日

各 位

会社名 ダイナパック株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯田 真之
コード番号 3947
(東証・名証第 2 部)
問合せ先 執行役員経理部長 山田 良文
電話番号 (052) 971-2651

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 12 月期第 2 四半期連結会計期間において、下記のとおり特別損失を計上しますので、お知らせいたします。

記

1. 投資有価証券評価損の計上

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復が困難であると認められたものについて、平成 21 年 12 月期第 2 四半期において減損処理による投資有価証券評価損を計上いたします。

(1)平成 21 年 12 月期第 2 四半期における投資有価証券評価損

	単体	連結
(A)平成 21 年 12 月期第 2 四半期会計期間(平成 21 年 4 月 1 日から平成 21 年 6 月 30 日まで)の投資有価証券評価損の総額(=イ-ロ)	△64 百万円	△77 百万円
(イ)平成 21 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 6 月 30 日まで)の投資有価証券評価損の総額	295 百万円	295 百万円
(ロ)直前四半期(平成 21 年 12 月期第 1 四半期)累計期間(平成 21 年 1 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで)の投資有価証券評価損の総額	359 百万円	372 百万円

※四半期における有価証券の評価方法は洗替え方式を採用しております。

※当社の決算期末は 12 月 31 日です。

○純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

	単体	連結
(B)平成20年12月期末の純資産額	30,658百万円	26,412百万円
(A/B×100)	△0.2%	△0.3%
(イ/B×100)	1.0%	1.1%
(C)最近5事業年度の経常利益額の平均額	915百万円	1,007百万円
(A/C×100)	△7.1%	△7.7%
(イ/C×100)	32.3%	29.3%
(D)最近5事業年度の当期純利益額の平均額	291百万円	228百万円
(A/D×100)	△22.1%	△33.8%
(イ/D×100)	101.2%	129.1%

(注) 最近に終了した事業年度の経常利益および当期純利益が10億円未満のため、経常利益および当期純利益は最近5事業年度の平均値としております。(赤字の事業年度はゼロにて計算)

2. 投資有価証券売却損の計上

平成21年1月23日に「投資有価証券売却損発生の見込に関するお知らせ」として公表しておりますとおり、当第2四半期連結累計期間において当社が保有しております全ての債券を売却しております。なお、既に平成21年5月12日付けの「業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」で公表しましたとおり、第1四半期連結会計期間において債券の一部を売却し563百万円の特別損失を計上してはりましたが、当第2四半期連結会計期間において残り全ての債券を売却したことにより435百万円を特別損失に追加計上いたします。これにより、当第2四半期連結累計期間において投資有価証券売却損998百万円を特別損失として計上いたします。

3. 固定資産除却損の計上

当第2四半期連結会計期間において、連結子会社である日本ハイパック株式会社の名古屋工場を閉鎖し、新工場であるダイナパック株式会社みよし事業所に移転をしております。日本ハイパック株式会社名古屋工場の閉鎖の際に発生した有形固定資産の撤去・解体作業などにより固定資産除却損124百万円を特別損失として計上しております。

4. 今後の見通し

平成21年12月期第2四半期累計期間および通期の連結業績予想および個別業績予想につきましては、本日付で別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以上